



ロシア・ナノテク投資セミナー

～ナノテク分野における日ロ協力の可能性～

開催のご案内

平成25年1月21日
(一社)ロシアNIS貿易会

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて来る2月1日(金)、ロシアNIS貿易会は、ロシアの国家株式会社「ロスナノ」社およびそのグループ企業による代表団一行の来日を機に、下記の要領により「ロシア・ナノテク投資セミナー～ナノテク分野における日ロ協力の可能性～」を開催する運びとなりました。

ロスナノは、2011年にロシアにおけるナノテク技術の開発と商業化を目的に、国家の100%出資によって設立された国策企業です。ナノテク分野への投資とインフラ整備を通じ、国産技術と外国から移転した最先端技術の融合により、ロシア国内に競争力のあるナノテク産業基盤を構築することを使命としています。今回は、東京で開催される国際展示会「nano tech 2013」参加のため、グループ企業を率いて来日、本セミナーでは日本のビジネス界にロシアのナノテク技術の現状についてご紹介し、同分野における日本とのビジネス発展、協力の可能性についてご提案する予定です。

参加ご希望の方は、別紙1「参加申込書」にご記入の上、1月30日(水)までに(一社)ロシアNIS貿易会宛にFAX(03-3555-1052)もしくはEメール(webmaster@rotobo.or.jp)にてお申込みください。なお、ロスナノ以下、本セミナーにおいてプレゼンテーションを行う企業の概要につきましては別紙2をご参照ください。

ご多忙の中、誠に恐縮ではございますが、何卒よろしくお願いいたします。

敬具

記

- ◆日 時: 2013年2月1日(金)15:00～17:00
- ◆会 場: ホテルニューオータニ ザ・メイン アーケード階 おり鶴 翔の間
〒102-8578 東京都千代田区紀尾井町4-1 TEL:03-3265-1111(代)
<http://www.newotani.co.jp/tokyo/info/access/index.html>
- ◆定 員: 50名 / ◆参加費: 無料 / ◆使用言語: 日露同時通訳
- ◆主 催: (一社)ロシアNIS貿易会、公開型国家株式会社「ロスナノ」
- ◆後 援: 在日ロシア連邦大使館(予定)、在日ロシア連邦通商代表部(予定)
- ◆プログラム: ・基調講演「ナノテク分野における日ロ協力:ロスナノは協力への門戸を開く」
V. グルデフ ロスナノ社 プロジェクトオフィス局長
・企業プレゼンテーション:①エルビテク社、②プラスチック・ロジック社、
③クアンテナ・コミュニケーションズ社、
④クロクス・ナノエレクトロニクス社、⑤NTファルマ社、他
- ◆本件連絡先:(一社)ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所
担当: 輪島、中馬
TEL:03-3551-6218 FAX:03-3555-1052
Email:webmaster@rotobo.or.jp

(一社)ロシア NIS 貿易会

ロシアNIS経済研究所 宛て (担当:輪島、中馬)

FAX: 03-3555-1052 / E-mail: webmaster@rotobo.or.jp

ロシア・ナノテク投資セミナー ～ナノテク分野における日ロ協力の可能性～

2月1日(金) 15:00~17:00
ホテルニューオータニ おり鶴 翔の間
参加申込書

締切日: 1月30日(水)

(1) 申込者氏名		英文表記	
(2) 勤務先名称			
英文表記			
(3) 所属部署			
英文表記			
(4) 役職		英文表記	
(5) 勤務先TEL			
(7) E-mail			



ホテルニューオータニ

〒102-8578
東京都千代田区紀尾井町4-1
TEL. 03-3265-1111
FAX. 03-3221-2619

[電車でお越しのお客さま]
・赤坂見附駅(地下鉄 銀座線・丸ノ内線) D紀尾井町口 3分
・永田町駅(地下鉄 半蔵門線) 7番口 3分
・麹町駅(地下鉄 有楽町線) 麹町口 6分
・四ツ谷駅(JR 中央線・総武線、地下鉄 丸ノ内線・南北線) 麹町口・赤坂口 8分

ロシア・ナノテク投資セミナー ロシア側参加企業の概要

1) 公開型株式会社「ロスナノ」

設立: 2011年3月

事業内容: ナノテク技術開発の商業化のための投資

子会社: ロスナノ・USA、ロスナノ・イスラエル Ltd.、ロスナノ・キャピタル、度量衡センターロスナノ、ロスナノ・インフォルム

社長: アナトリー・チュバイス(1955年生、2011年3月就任)

特徴:

- ・ 2007年に設立された国家コーポレーション「ロシア・ナノテクノロジー・コーポレーション」を再編して設立した100%国営会社。
- ・ 主な目的は、ナノテク技術開発の商業化。国内の研究者の知識と外国の最先端技術の移転を基盤に競争力のあるナノテク産業をロシアで確立することを使命としている。
- ・ ロスナノの投資はナノテク分野に限定される。2008年4月～2011年12月末までに受け入れたプロジェクト件数は2,113件(予算総額4兆4,531億ルーブル)。これらのプロジェクトに対するロスナノの投資は2兆2,676億ルーブル(全体の51%)。

URL: <http://en.rusnano.com> (英語版)

2) 閉鎖型株式会社「エルビテク(Erbitech)」

所在地: ロシア連邦スタヴロポリ地方

事業内容: 医療機器開発・生産。

社長: エヴゲーニー・シンカレフ

特徴:

- ・ 独自の研修センターを持ち、市場の需要に素早く対応し、開発、生産につなげることができる。
- ・ イットリウム・アルミニウム・ガーネット単結晶の生産、医療機器製造、グルコース測定器の販売、血のサンプルを過程で採取するためのレーザー機器の開発などを行う。
- ・ 主要株主はロスナノ

URL: <http://www.erbitech.com> / (ロシア語版のみ)

3) プラスチック・ロジック(Plastic Logic)」

所在地: イギリス・ケンブリッジ(ロシアはモスクワのゼレノグラード)

事業内容: プラスティック・エレクトロニクス。次世代ディスプレイの生産

CEO: Indro Mukerjee(2011年9月就任)

特徴:

- ・ ロスナノとイギリスの Oak Investment Partners が主要投資会社。イギリス、ドイツ、ロシアに工場を持ち、製品の販売先は世界各国。

- ・ ケンブリッジ大学の Cavendish 研究室出身の研究者たちが設立し、依頼、プラスチック・エレクトロニクスの研究・投資の最先端をいく。プラスチック・エレクトロニクス製品の大量生産を最初に実現。
- ・ 近年は極薄、極軽、高品質のプラスチック・ディスプレイの開発を進めている。

URL : <http://www.plasticlogic.com/> (英語版)

4)クアンテナ・コミュニケーションズ(Quantenna Communications)』

設 立 : 2006 年

所 在 地 : アメリカ・カリフォルニア州サニーベール

従業員数 : 120 名

事業内容 : 半導体生産

C E O : Sam HELDARL

特 徴 :

- ・ ワイヤレス・ネットワークおよびデバイスに最高水準の性能、速度、および信頼性をもたらす次世代チップセットを開発しているファブレス半導体企業。Grazia Equity、Sequoia Capital、Sigma Partners、および Venrock Associates などシリコンバレーの名高いベンチャー・キャピタル会社の支援(設立以来、9,000 万ドル以上の融資)を受けている。

URL : <http://www.quantenna.com/> (英語版)

5)有限会社「クロクス・ナノエレクトロニクス(Crocus Nano Electronics)」

所 在 地 : ロシア連邦モスクワ市

事業内容 : 電子機器、日用品生産。磁気抵抗メモリ製品・技術の生産と販売

社 長 : ボリス・オマロフ

特 徴 :

- ・ ロスナノのプロジェクト会社。49%の株をロスナノが保有。
- ・ 今後、2年間のうちに、ゼレノグラードに週 500 個生産可能な工場を建設する予定であり、第二フェーズではその生産能力を2倍(週 1,000 個生産可能)にするための投資を行う予定。
- ・ ロシアで新しいコンピューターメモリー生産に向けた開発・準備を行うセンターと教育センターも設置予定。

6)NT ファルマ(NTFarma)』

設 立 : 2010 年(プロジェクトの開始)

従業員数 : 2015 年までに 150 人分の雇用創出

所 在 地 : ロシア連邦モスクワ市

事業内容 : 製薬業

プロジェクト総額 : 15 億ルーブル(うち、13 億ルーブルをロスナノが融資)

特 徴 :

- ・ ロスナノのプロジェクト会社。プロジェクト参加企業は OOO「Prom-B」、OOO「Dominanta」、Aspen Technologies Inc.、ロスナノ、その他研究機関等。
- ・ ヤロスラヴリ州ペレスラヴリ市にワクチンおよび医薬品の生産工場を建設するプロジェクトを実施するために設立された会社。

- ・ アデノウィルス・ナノ粒子やそのほかのナノ構造を使ってワクチンや薬品を生産できる最新技術をベースとした新世代型ワクチン(特に悪性腫瘍治療薬品、筋萎縮性側索硬化症の治療薬等)の生産を予定。
- ・ 最新技術の導入により、新型ワクチンの生産に必要な期間は約2分の1に削減できる。
- ・ 2010年にプロジェクトがスタートしており、2013年から生産を開始。2015年までに総売り上げを13億9,500万ルーブル(市場シェア15%)とする予定。

U R L: <http://www.ntpharma.ru/en/>